

平成 29 年度 営業計画

当社を取り巻く現状と課題を分析するとともに、先行する他の第三セクター鉄道会社の事例調査を踏まえながら、このたび策定した営業方針に基づき、平成29年度は以下の施策を実施し、利用促進と収益の確保に努めていく。

なお、事業展開にあたっては、その内容により地域応援隊及び行政の支援を最大限に活用しながら進めていきたい。

1. テーマと実施項目

(1) 沿線住民(企業含む)の利用拡大

ア ダイヤの見直しと他交通機関との連携

- ① 他交通機関(バス・JR・タクシー)との乗継案内の拡充

イ 高齢者の利用促進

- ① 乗降時サポートの実施
- ② 配布用大文字時刻表の作成
- ③ 駅トイレの簡易洋式化(茂辺地駅)
- ④ 木古内駅階段昇降機の老朽化に伴う対応の検討

ウ 沿線住民(主に子供向け)体験・勉強会等の実施

- ① 列車利用時の自動券売機等の操作方法、乗降方法等授業の提案
- ② 幼稚園・保育園の遠足時の昼食・休憩場所として駅待合室の提案
- ③ 幼児・小児向けPR販促品の作成
・幼児、小児向け車両・駅紹介カードの作成と配布

エ 学校・学生・企業の利用促進

- ① 沿線小中学校へ授業カリキュラム・部活動組込の提案
・当社線の社会的意義(貨物輸送含む)の認知度向上
- ② 学校向け団体運賃・利用手順案内書の作成
- ③ 部活動の活用提案
- ④ 沿線学校への定期券出張販売と購入方法、市町補助制度の周知
- ⑤ 沿線自治体へ列車時刻に合わせた各種会議・イベント開催時間の設定依頼
- ⑥ 沿線学校の行事出席(入学式・運動会・卒業式・学芸会・学園祭等)

(2) 交流人口(観光利用)の誘客・拡大

ア 団体列車やイベント列車の拡充

- ① 団体乗車旅客に対する観光誘致
・大口、定期列車内での観光案内・乗降補助・営業案内。
- ② 「ながまれ号」団体を通した沿線PR
・途中駅での地元商店会による駅頭販売の継続実施
・着地歓迎看板の設置
- ③ 首都圏・東北・札幌 AGT へのセールス
・北海道観光振興機構主催プロモーションでのモデルコース提案(春・秋)
・旅行会社、JRの企画担当者を迎えた実地研修会と意見交換

イ 外国人観光客の受け入れ環境整備と誘致

- ① 海外鉄道会社との情報交換・連携(台湾国鉄)
- ② 外国人向け鉄道利用案内パンフレットの作成
- ③ 指差し会話集の導入(運転士・木古内駅)
- ④ 利用不可乗車券(ジャパンレールパス)の車内・駅頭周知方法改善
- ⑤ 外国人向けHPの設定

ウ 沿線誘客資源の発掘と紹介

- ① 夜景・夕景観賞列車の運行(夏期・年末/130D・135D)
 - ・日没時間～夜間帯の2両以上での運行列車(後部車両を減灯)
- ② 沿線徒歩視察の実施及び発掘観光資源の情報発信
- ③ 沿線イベントの駅頭・HPでの紹介
- ④ 日没時間のHP掲載とお勧め列車の紹介

エ 初利用者向けの対策

- ① 沿線散歩コースの造成
 - ・駅前散策マップの作成
- ② パンフレット配置箇所の拡大
 - ・函館市内ホテル・周辺観光施設・札幌駅観光案内所でのパンフレット配置
- ③ 1日フリー乗車券等の設定検討

(3) 鉄道事業外収益の拡大

ア オリジナルグッズの販売

- ① 沿線企業とのコラボ商品、新商品の設定・販売
- ② 出張販売の実施(イベント時、四季島運行時の撮影者向けに)
- ③ 車内販売の実施(団体対応列車等)

イ 沿線の観光・飲食施設との連携

- ① 沿線商店街等への車内・駅頭広告のセールス

(4) その他

ア 鉄道ファンの誘客と育成

- ① 鉄道イベントへの参加・出店(東京・札幌・函館 JR 貨物イベント 7/29)
 - ・鉄道廃材品の販売 など
- ② 地域応援隊による活動事業への支援

イ 沿線価値の向上と地域の活性化

- ① 沿線の季節感を感じ取れるイベントの実施
 - ・七夕、ハロウィン、クリスマス、受験シーズン
- ② 沿線学校の卒業式・入学式に合わせた祝賀掲示
- ③ 地元町内会からの意見・要望の聴取及びサークル活動等による駅内利用セールス
- ④ 沿線で開催されるスポーツイベントの応援
 - ・駅内応援ポスター等(日ハムレディスクラシック、ツールド北海道 ほか)
- ⑤ 「鉄道の日」における沿線協力者への感謝状の贈呈検討
- ⑥ Facebook等による沿線情報の随時発信、リンク先の拡大
- ⑦ 鉄道沿線遊休地の活用検討(五稜郭駅キヨスク、七重浜郵便局など)
- ⑧ 北海道と本州を結ぶ物流ルートを担う当社線の社会的意義(貨物輸送)の周知

2. 営業設備の更新・改善

(1) 駅舎内

ア 老朽化・陳腐化対策

- ① 待合室内掲示物の見直し

イ 観光情報不案内の解消

- ① 下車駅マップの作成(沿線散策用として)

ウ 駅舎内の環境美化

- ① ポスター用掲示板の新規設置(七重浜・木古内)

(2) HPの一部加筆・修正

ア 利用案内部分の加筆・修正

- ① 利用可能・不可能特企券の案内を加筆・修正。
- ② 質問Q&Aの追記・修正

(3) 車両デザインの検討

ア 未変更車両3両分デザインの検討と利用促進

- ① 新デザインを使用した商品化、沿線利用促進策の検討

3. 運賃逋脱抑制、繁忙期対応

(1) 運賃逋脱の抑制

ア 木古内駅での繁忙期特別改札の実施

- ① 青春18、大人の休日パス使用期間、外国長期休暇期間等に実施

イ 利用不可商品の車内・駅頭告知及び確実な運賃收受

- ① 車内吊り、外国語向けパンフレットに使用可能特企券を告知

ウ 定期列車乗車時における運賃收受支援

- ① 誤購入の多い列車、利用の多い列車を中心に乗車

(2) 沿線イベントに合わせた増発・増結手配の検討

函館港花火大会(7/16、8/1)、ツールド北海道2017(9/8-10)、茂辺地鮭まつり(11/3)、
かなで〜るコンサート ほか

(3) 沿線イベントに合わせた繁忙期案内対応

函館港花火大会(7/16、8/1)、日本ハムレディスクラシック(7/7-7/9)、
ツールド北海道2017(9/8-10)、木古内寒中みそぎ祭り(1/13-15) ほか